

鶴岡市消防署上下型防火衣 仕様書

1 総 則

この防火衣は、上衣、サスペンダー式下衣により構成されるもので、防火衣の最新国際標準規格 I S O 1 1 9 9 9 - 3 : 2 0 2 5 における【別表 1】の要求性能に適合するものとする。

また、最新の消防隊員用個人防火装備に係るガイドラインの規格・基準に適合した製品であること。

2 購入数量

上下型防火衣 30式

3 納入期限

令和9年1月22日（金）

4 納入場所

鶴岡市美咲町36-1 鶴岡市消防本部

5 規格・構造等

(1) 色指定

紺色及び赤色を用いたものとし別図のとおりとする。

(2) 表生地

メタ系アラミド繊維及びパラ系アラミド繊維の混紡であること。

(3) 縫製

胸、背、袖口、裾に反射材を熱圧着により張り付けること。また、上衣右胸部及び背面に指定する反射文字を入れること。

(4) ズボン

裾口上部に反射材を熱圧着により張り付けること。また、サスペンダー（取り外し可能）付であること。

(5) 中衣

縦型の保冷剤ポケットを2つ以上設けること。（保冷剤付きとする）

(6) その他

詳細については、別図及びイメージ図のとおりとし、ポケット及びフックループ等のサイズ・位置、色調等の詳細については、受注者と協議し、決定する。

(7) 参考品

- ・ 帝国繊維株式会社 インスパイヤー 3DP
- ・ 株式会社赤尾 エミュファイター ダイヤ

6 採寸

対象者30名の採寸を行うこととし、採寸者の派遣に要する諸経費は、受注者が負担すること。

なお、サイズ見本の貸出によりサイズを申告させることも可とし、詳細については受注後に協議する。

7 品質保証

ISO23616に基づく日常点検又は高度な検査により修理が必要と判断された場合は、ガイドラインに沿った修理可能範囲において、納入後5年間は無償にて修理対応を行うこと。

また、納入後5年以内に防火衣の破損が発生した場合は、受注者の負担により修繕又は交換を行うこと。ただし、使用方法、使用環境、保管方法、洗濯方法その他取扱いが適切でないことに起因する破損については、この限りではない。

なお、縫製不良、材質不良その他品質上の不具合が認められた場合は、製造年数にかかわらず、受注者の負担により修繕、交換その他必要な対応を行うこと。

8 その他

(1) 本仕様書に明記されていない事項で疑義が生じた場合は、当市と協議し指示を受けること。

(2) 本仕様書で指定した参考品以外（同等品以上）の物品を納入する場合は、質疑受付期限までにカタログ、見本品及び参考品との比較が可能な防火衣性能表を提出し承認を受けること。

【別表1】

項目	規格等	試験方法
熱伝達性 (火炎暴露) 【防火衣積層】	前処理前 HTI 24 \geq 13 秒 HTI 24 - HTI 12 \geq 4 秒 前処理後 HTI 24 \geq 15 秒 HTI 24 - HTI 12 \geq 4 秒	ISO 9151 : 2016 洗濯方法 ISO 6330 : 2021 6N 5回 タンブル乾燥
熱伝達性 (放射熱暴露) 【防火衣積層】	前処理前 RHTI 24 \geq 18 秒 RHTI 24 - RHTI 12 \geq 4 秒 前処理後 RHTI 24 \geq 20 秒 RHTI 24 - RHTI 12 \geq 4 秒	ISO 6942 : 2022 B法 洗濯方法 ISO 6330 : 2021 6N 5回 タンブル乾燥
耐熱性 【防火衣生地】	溶解、滴下、分離、発火しないこと。 熱収縮 \leq 5%	ISO 17493 : 2016 前処理後 試験温度 : 260°C \times 5分 ISO 6330 : 2021 6N 5回 タンブル乾燥
圧縮時 熱伝達性能 【防火衣積層】	閾値指数 (TT) \geq 10 秒	ISO 12127 - 2015 前処理前後 接触熱 260°C 10°C 上昇時の圧縮熱伝達指数